

ごあいさつ



群馬県テニス協会 会長

山 川 巖

伝統ある実業団の大会が当地で開催されることは、大変に名誉なことであります。

皆様の御来県を心より歓迎申し上げます。

会場は関東平野の北西部の端に位置し、赤城・榛名・妙義の上毛三山を仰ぎ、近くには上越の山々を源流とする利根川が豊富な水をたたえ流れています。

この地での3日間に亘る大会は選手の皆様の日頃の練習成果を発揮され白熱した競技を展開して、美技・技巧を見せていただくことを楽しみにしています。

群馬のテニスは今年で協会創立50周年を迎えます。この間、県下の実業団の選手が協会発展の一翼を担ってくれました。この期にこのような大会が開かれることは、県下のテニスプレーヤーに大きな良い刺激になると確信しています。

群馬県は往年の世界的テニスプレーヤー清水善造と佐藤次郎の両選手を生んでいます。清水選手はウインブルドン大会の日本人として初めての出場者でありながらいきなりオールカマーズ決勝へ進み、その時のチルデン選手との激闘は語り継がれ、又、佐藤選手も全豪・全仏・全英とすべてベスト4以上進出の偉業を成し遂げました。

この生誕の地で選手の皆様がプレーしていただけることを誇りに思っています。

ひととき暑い夏です。コンディションを崩さぬようにし、上州の地での大会が良き思い出になりますよう、お祈り申し上げます。

この大会に当たり多くの方々の御支援、御尽力に対し敬意と感謝を申し上げます、歓迎の言葉とします。